

平成23年3月29日

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察 防除情報第21号

麦類赤かび病の防除対策について

平成23年3月25日付の気象予報によると、向こう1か月の気温は平年より低く、降水量も平年より少ないと予想されていますが、出穂期以降の気象次第では発生が多くなることも考えられますので、以下の点に留意して防除の徹底をお願いします。

記

1. 防除対策

- (1) 本病は、出穂期以降に気温が高く曇雨天が続くと多発生するので、出穂期以降の気象推移に注意する。
- (2) 発病を認めてからの薬剤防除では効果が劣るので適期防除に努める。
- (3) 小麦、裸麦では開花最盛期（出穂期の概ね7日後）とその7～10日後に薬剤散布する。
- (4) 二条大麦では穂揃い期の10日後（図：葯殻抽出始め）に薬剤散布すると効果が高いので、防除時期を逸しないようにする。
- (5) 曇雨天が続く場合は、必要に応じて追加防除を行う。
- (6) 麦の生育ステージは圃場により異なるので圃場の見回りに努め、生育ステージを把握した上で防除を実施する。

参考 各品種の出穂期（長崎県農林技術開発センター、諫早市）



図：大麦葯殻抽出始め
（九州・沖縄農研センター原図）

品種名	本年値（）は予測日		平年値	
	播種期	出穂期	播種期	出穂期
ニシノチカラ	11/18	(4/6)	11/17	3/31
ニシノホシ	11/18	(4/3)	11/17	3/30
イチバンボシ	11/18	(4/3)	11/17	3/30
御島稈	11/18	(4/12)	11/17	4/8
チクゴイズミ	11/19	(4/9)	11/26	4/6
シロガネコムギ	11/19	(4/8)	11/26	4/7

注) 平年値は過去10年の平均値
本年値の出穂期は3月29日時点での予測値

2．防除上注意すべき事項

薬剤の種類、麦種によって農薬使用基準が異なるので、使用にあたっては収穫前日数に十分注意する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027